



# 女川原子力発電所の状況について

---

平成24年11月21日

東北電力株式会社

# 1. 当社原子力発電所における燃料集合体チャンネルボックス上部の一部欠損に係る報告(中間報告)について

## (1) 本事象のこれまでの経緯

女川3号機のチャンネルボックス1本の上部（クリップ接合部）に欠損を発見。  
（平成24年6月15日）



女川3号機の使用済燃料プール内の燃料において、他にも欠損の可能性があるチャンネルボックスを確認。  
（平成24年7月10日公表）



女川3号機の使用済燃料プール内の全燃料1,386体についてチャンネルボックス上部の外観点検を実施し、欠損の可能性がある燃料について詳細点検実施。

- 18体の燃料のチャンネルボックス上部クリップ接合部に一部欠損を確認。
- チャンネルボックス上部の一部欠損以外に異常なし。
- 欠損が燃料体の健全性、原子炉施設に影響しないことを確認。
- 確認した状況を中間報告として原子力安全・保安院へ報告。（平成24年8月10日）



## (2) 各号機の点検状況(中間報告)1/2

### ○2号機

使用済燃料プール内の全燃料1,807体について、チャンネルボックス上部の外観点検を実施し、欠損の可能性があるとして判断された燃料の詳細点検実施。

- 13体の燃料のチャンネルボックス上部クリップ接合部に一部欠損を確認。
- 8月10日付け中間報告以降の状況を原子力安全・保安院へ報告。  
(平成24年9月10日)

## (2) 各号機の点検状況(中間報告)2/2

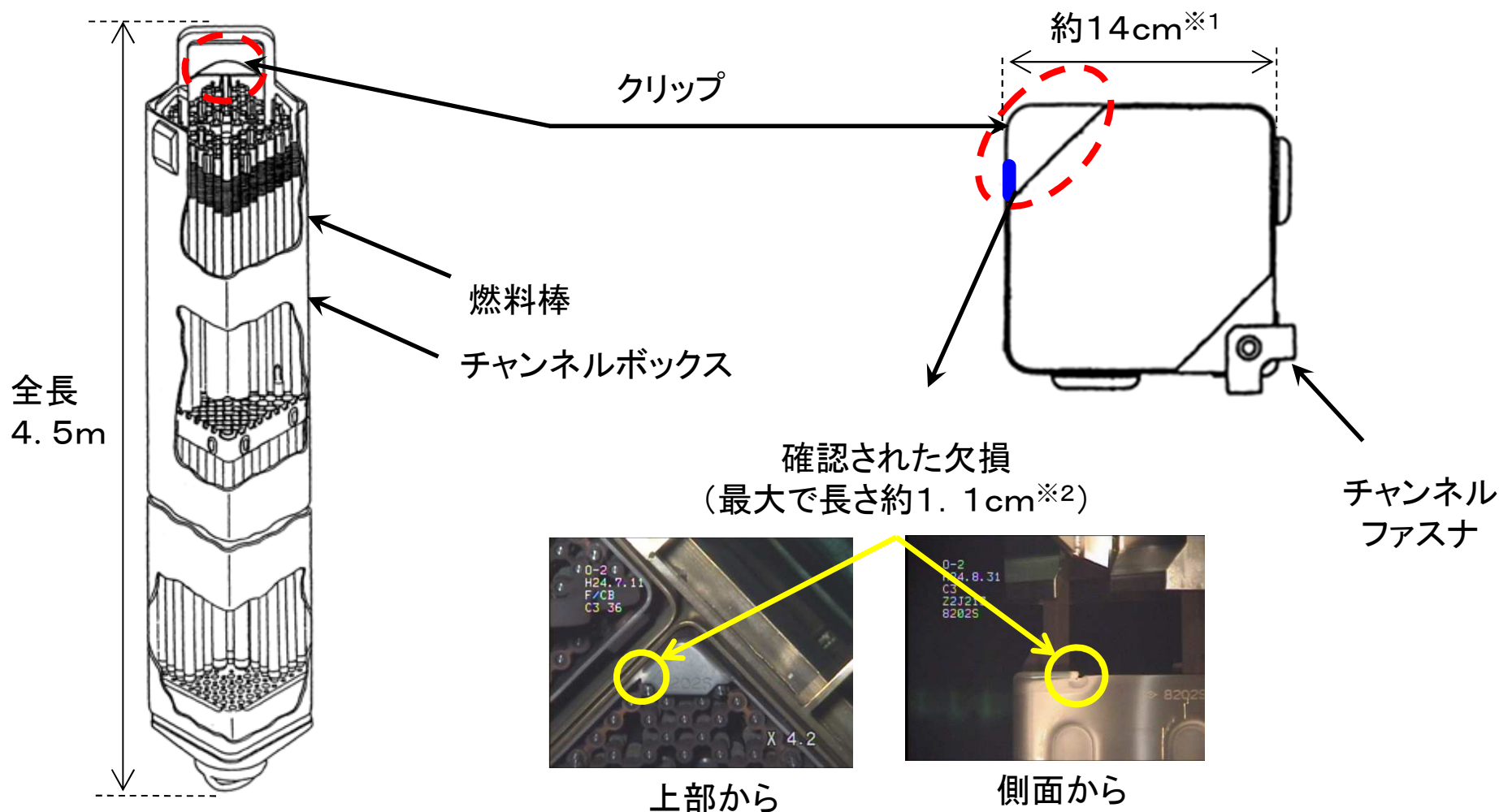
号機	燃料の点検数	チャンネルボックスに一部欠損のあった燃料の数	欠損長さ(最大)	当該燃料の健全性	当該燃料以外の燃料の抜き取りによる外観点検
女川2号機	1,807体* <sup>1</sup>	13体	約1.1cm* <sup>2</sup>	調査中	調査中
女川3号機	1,386体* <sup>1</sup>	18体	約2.6cm	異常なし	異常なし

注：女川1号機については、天井クレーンの復旧状況を踏まえ、点検計画を策定する。

\*1：東北地方太平洋沖地震時に原子炉に装荷されていた燃料560体含む

\*2：チャンネルファスナにより欠損部長さが確認できないものを除く

# (3) 女川2号機の燃料のチャンネルボックス上部の欠損状況 (例)



**燃料集合体概要図  
(9×9燃料(A型))**

※1 チャンネルボックス外寸

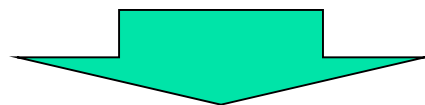
※2 チャンネルファスナにより欠損部長さが確認できないものを除く。



## (4) 今後の対応

---

チャンネルボックスに欠損が生じた要因としては、  
①溶接を施したクリップ接合部の「製造欠陥(溶接不良)」  
②燃料等の移動時における「接触による損傷」  
が考えられる。



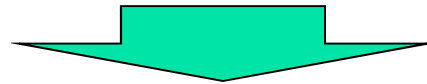
詳細な原因を調査中。

## 2. 女川原子力発電所1号機 原子炉建屋天井クレーン走行部の 損傷に伴う点検調査について

### (1) 点検状況

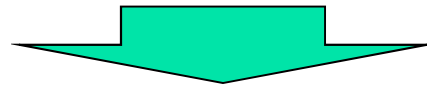
原子炉建屋天井クレーンの東北地方太平洋沖地震後の走行確認において異音確認。

- 点検を実施し、4カ所ある走行部のうち1カ所に損傷確認。



平成24年6月7日

当該クレーンに必要な機能を満足していないと判断し国へ報告。

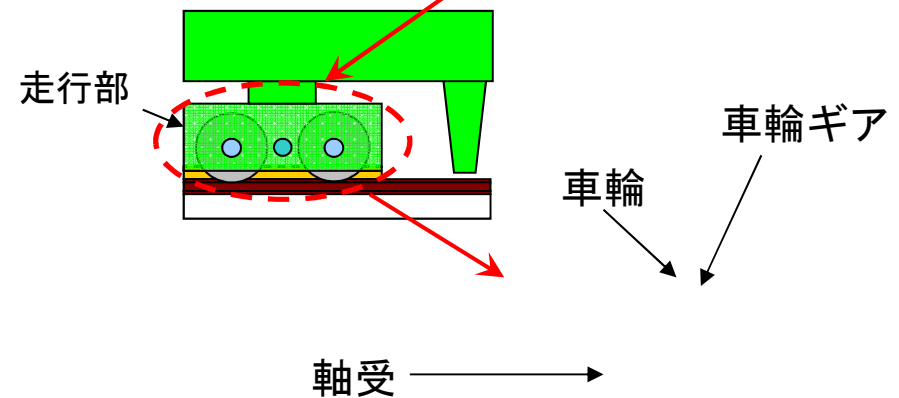
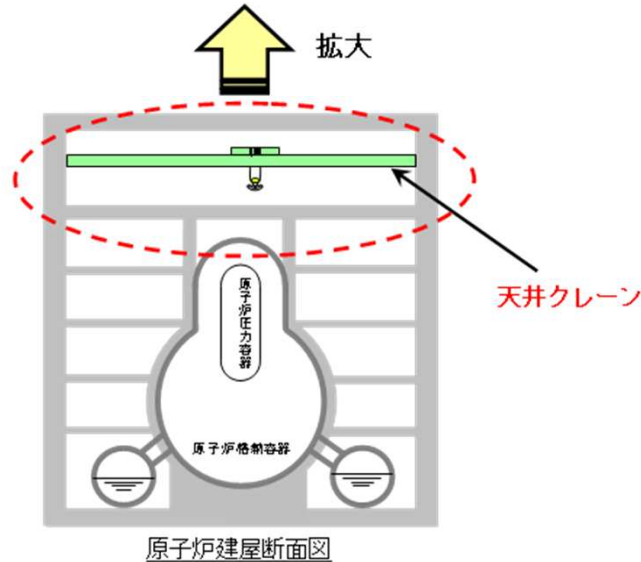
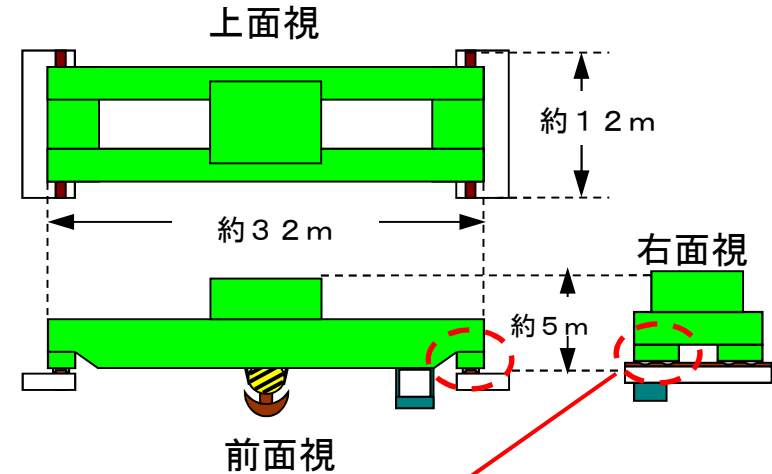
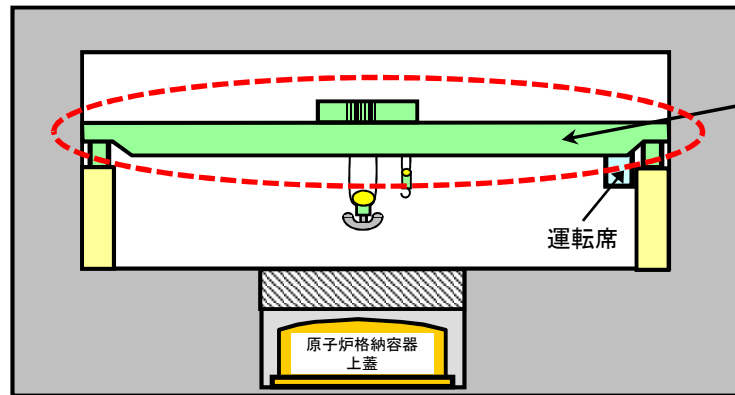


平成24年9月17日～

損傷が確認された走行部以外（3カ所）について点検調査を開始。

- 手回しによる車輪の動作確認により、3カ所の走行部で回転不良を確認。  
(平成24年11月12日公表)

## (2) 女川1号機原子炉建屋天井クレーン (概要)



女川1号機原子炉建屋天井クレーンイメージ図

天井クレーン走行部等構造図

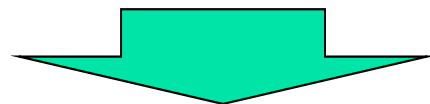




### (3) 今後の対応

---

- 走行部取り外し準備作業：平成24年10月11日より開始
- クレーン走行部交換（4カ所）：平成25年11月までに実施



クレーン走行部の分解点検により損傷発生の原因調査をすすめる。